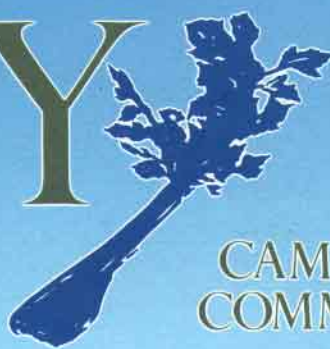


CELERY

No.13
1992

CAMPUS
COMMUNICATION



中村学園大学・中村学園短期大学／広報

特集！ 国際交流 GLOBALIZATION



▲邪心のない最高の笑顔。大自然は子供を天使にしてくれた。
—本人たちは宇宙人(?)のつもり—



ちよつと 近くなった外国

遊び塾『ありぐリス』が主催した内蒙古冒険隊の旗の下に、小学五年生から高校一年生までの子供百二十人が参加。皆、期待と不安を胸に、目をキラキラと輝かせながら、元氣いっぱい福岡を飛び出した。

八月一日北京経由で内蒙古に入り、現地の子供たちと合流。草原の湖、狼宿海へと向かう。日中混合の班構成で、一緒に火を起こし、テントを張り、励ましあいながら歩き、ケンカ遊びをしていく。もちろん、言葉は通じない。しかし、心は通じる。そう信じてボディランゲージが始まっていく。通じるとうれしくなり、自分の気持ちを伝えようとみんな必死になっている。いつの間にか、雰囲気を感じることができるようになり、心の内にあった壁が取り壊

地球冒険隊

▼尾藤さん（馬上）



大草原に輝く笑顔 —今、子どもが一番たくましい—

児童学科・児童学専攻四年
尾藤 真知子

されていくようだった。

気温が日中四二度、朝夕四度という厳しい自然の中、自分より大きな荷物を背負って歩く子供の姿と、それを応援してくれる地元の方々の笑顔がとても印象的だった。何でもやってみようというチャレンジ精神が活気を生み、キャプテンの私は子供を見守るだけの役割へと変わっていく。

三六〇度の草の海と青空が続く。先を行く人が地平線に消えてゆき、広い空間がたつた数人のものとなる。ゴロンと寝転び、土の温かさを感じ、風の音を聴く。体中にエネルギーが湧いてくるようだった。夜は満天の星に、天の川がほの白く流れている。神秘的な世界にただただうっとりするばかりだった。二日間強行四〇km歩は、体力の限界に近づいたが、満足度は最高点に達した。

今回は、なるべく子供達にまかせようと私はアドバイスすることを最小限にとどめた。私が一番心に残ったことは子供達のたくましさ。そして、草原に取り残された時に感じた気分。地球上に自分しかない。空と大地は私のもの！でも淋しい。だった。



▲さっきまで、メーデー言っていた羊も、今は天国へ。子ども達のしかめっ面が、いつしか喜びの笑顔に。肺に空気をいれて遊んだり、パンをかじりながら見ていたり、草原の冒険で、ずい分、たくましくなったみたい。

▲馬糞と、土で作った赤い家。草原の青さと菜の花の黄色の中に溶け込んで、自然の中にある人々の暮らしを感じました。



世界の十字路へ

中村学園の場合



▲国会議事堂で仲良くなったアメリカ人家族と。ワシントン D.C はアメリカの首都で、とても落ちつける町。国の主要機関がたくさん集まり政治の町と呼ばれている。大きな博物館がたくさんあってそのほとんどが無料。



▲左から ティム先生、大村さん、校長先生。サマーコースの卒業証明書をかこんで

八月一日から約一カ月間、語学研修のためにアメリカに行っていました。

成田からアメリカに向かう飛行機はノースウエスト航空。スチュワーデスさんもアメリカ人だったので、ここから私たちが英語を使いました。初めて英語で話した

語学研修

海外語学研修に参加 英語で会話ができたとき

家政科・生活文化コース一年
大村 奈穂子

ときは、残念ながら相手に通じませんでした。緊張して声も小さかったし、発音も悪かったからだと思えます。でも、何度か話しているうちに自信がついてきて、通じるようになった時には、本当に嬉しく思いました。

さて、ワシントン D.C、ジョージタウン大学での授業は、発音、文法、会話と三つにわかれていました。先生は、ティムとスコットといって二人ともアメリカ人です。ティムは日本語が話せてとてもユーモアがあり、スコットは真面目で五カ国語も話せる天才でした。文法の時間では、説明はすべて英語でしたので、はじめのうちは、何を言っているのかわからず戸惑いましたが、内容が中学校レベルのもので、ため息がでるほど楽しい授業になってきて、みんな、先生と積極的に話していました。私も家族や趣味について話しました。

英語だけでなくアメリカの地理なども勉強し、先生達は週に二、三回、授業の後に市内見学にも連れていってくれました。

他の国の生活文化に直にふれるという貴重な体験を大学在学中にできて、とても有意義でした。



▲ジョージタウン大学。大統領候補クリントン氏の母校

まだまだ国際交流 GLOBALIZATION



▲ロンドン・ビッグベンを背景に

最初の訪問国イギリスではセントポール高等学校を訪問、英国の教育制度と実情についてレクチャ

一方、歴史や文化面においては、イギリスの大英博物館の古代彫刻品の数々、フランスのルーヴル美術館でのミロのヴィーナスやモナリザなどの名画芸術品を目前にし感激した。また照りつける太陽の中、古代をしのぶローマのコロッセオやポンペイの遺跡など印象深いものばかりだった。

いくつかの国境を越え、駆け足の旅ではあったが、「百聞は一見に如かず」のことわざの如く、様々な国で得た貴重な体験や見聞を、今後の諸活動に活かしたいと思っている。

私の夢は中国で日本の技術を役立てること



サイ シュエン
崔 秀英
食物栄養学科・管理栄養士専攻一年
中華人民共和国出身

国際化というのは、なにも外国に出ていくことばかりではありません。中村学園大学で学ぶ崔さんは「私にとっての国際化は、相手の国の文化や習慣を理解すること」と語ってくれました。

日本語を不自由なく操る崔さんですが、授業についていくのはなかなか大変だとか。大学生になって半年、友人が増えたことがとても嬉しいそうです。

パイリンガルになることもイマイジョンの目的のひとつではあるが、もっと大切なことは、彼らをもっと日本やその他の国に目を向け、そして理解し、偏見や差別が少しでもなくなるような国際関係を築くことではないだろうか。彼らだけでなく、これは私達、大人にも必要とされていることだと思う。

の大人と比べものにならないくらいいきいである。四年生位になると、日本語に對しての抵抗は完全ではないがなくなるようだ。でも話すところまではいかない。もちろん、彼らの親は、彼らが小学校を卒業するときに、パイリンガルになることを望んでいるのだ

研修 ヨーロッパの教育と 歴史にふれて

百聞は一見に如かず

研修

欧州で最も魅力に富んだ代表的都市を、教育や歴史、文化について興味深く視察しようという目的で、この夏、ヨーロッパ海外教育視察団に参加した。北はデンマークから南はイタリアまでの八カ国、十四都市を二十二日間であわるといふハードな長旅だったが、日々展開される自然景観の美しさには、旅の疲れも吹き飛ばすほどの感動を覚えた。



▲釜山市の町風景

いま見た気がします。韓国はとても儒教思想が根強く、人々は親切で、それは街の中でも見受けました。例えば、タクシーに乗る場合でも、(韓国ではタクシーを相乗りすることがあるそうですが)後から乗ってくる客のために、最初に乗る客は助手席に座るのだそうです。教員大学校でも、食事から宿泊までとても行き届いた配慮をいただきました。教員大学校とは、教育大学のことで、韓国にはこのような教員養成校は四校しかなく、このため入学はとても狭き門だそうです。しかし、入学すれば学費は全員免除され、しかも、卒業後は一〇〇%教員になれるそうです。キャンパスもすごく広く、私たちはバスで移動しました。施設ももちろんすばらしく、図書館では多くの学生が熱心に勉強していました。ここに滞在中、附属国民学校(小学校)と中学校を訪問しまし

今回の訪問を通して、私は、自分の目で見て確かめることが国際交流の基本だと知りました。日本と韓国の交流はこれからもっともっとと深まっていくと思います。早く両国の間に真の友情が築かれたらと、願わずにはいられません。

たが、どの国も子供たちの目の輝きは素晴らしいと実感しました。また、大学の学生十名と片言の英語でディスカッションをしましたが、彼らは、子供たちに教えるには自分たちがもっともっと勉強しなければならぬこと、そして教師という職業は知識を教えるだけではなく、人間をつくる職業だから、大学程度の学問では満足できず、大学院に進学する学生も増えていると言っていました。戦争の問題について触れると、ただ、日本に謝ってもらいたいのだ、と言っていたのがとても心に残りました。



▲正装のチマチョゴリで迎えてくれた教育大学附属国民学校のPTAの皆さん。(前列左が岡さん)

仕事 イマージョンってなに？ 日本語で勉強するアメリカの子供たち

植田 暁子 (児童教育学専攻 平成二年三月卒業)

渡米して一年三カ月がたった。この間、日本にいた五年分くらいの経験をしようとした。当たり前前ではあるが、車の免許取得や購入、保険の加入、銀行の口座開き、仕事の契約書、ミーティング……全て英語である。お蔭で私の辞書はボロボロになった。

在学中、お世話になった三谷勝彌先生の紹介で、イマージョンプログラムでの仕事について知ったのは、私が臨時採用で小学校に勤務している時だった。

もともと英語が好きで、大学の時もアメリカやイギリスにホームステイや留学をしたり、また卒論も重松勉先生のゼミで「マザーグース」について書いた。だから、この話を聞いた時、飛び上がるくらい嬉しかった。と同時に、外国で仕事をしながら生活するという

ことについて怖くもあった。しかし、この機会を生かしたいと思い

渡米を決意。両親も、止めても聞くまいと許してくれた。

イマージョンとは、先生が英語を使わずに外国語(日本語、スペイン語、フランス語等)で算数、理科、保健を教えることで、子供たちは半日を外国語クラスで、残り半日を英語クラスで過ごす。学習すると共に、自然に外国語を身につけ文化も学べるというわけである。このイマージョンは、一九六五年カナダで始まったのをきっかけにアメリカ全土に今なお広がっており、ここバージニア州フェアファックス郡でも四年前に始まり現在一年生から五年生まである。

私は、昨年度フロリダ小学校に一年生のアシスタントとして勤務し、今年の九月から、先生として働くことになった。一年生の九月はとも大変だ。子供に日本語で何を言ってもわからない。保健室に行く子が続出し、毎日のように「家に帰りたい」と泣く子もいる。ちなみに、アメリカの小学校では、校内の子供の一人歩きは禁止されているので、保健室へ行くときはかならず三人で行くことになっている。一クラス



協定

国際的な活動の広がりを期待 ボストン大学医学部と学術交流協定を締結

学 長 山 元 寅 男

共同研究の推進
教員、学生の交流
教育方法の開発についての協力
研究情報の交換

これまでの我が国の社会的、文
化的、経済的な発展に大学が果た
してきた役割は誠に大なるものが
ある。今日の我が国の社会は複雑
かつ流動的で、大学もそれらに対
応して新たな展開と学術の一層の
進展が求められている。また一方
では、先進国の一員として、社会
のあらゆる分野において国際化を
進めていかなければならないし、
このことは大学においても例外で
はない。

▶ボストン大学



本学も大学の教育研究を国際的
な水準に維持し、先進諸国に伍し
て新たな世界的貢献を目指してい
くために、外国の教育研究機関と
学術交流を積極的に行うことをか
ねてから計画してきたところであ
るが、このたび、大学院栄養科学
研究科の中村元臣教授の友人であ
るボストン大学医学部栄養病理学
のバイターレ教授と中村教授との
間で、学術交流のきっかけを作っ
て頂いた。昨年、バイターレ
教授を紹介して、ボストン大学医学

部長チヨバニアン教授と私との間
で種々協議を重ね、協定文案の作
成にこぎつけ、本年四月に協定書
に調印することができた。
協定書の内容を要約すると、中
村学園大学とボストン大学医学部
とは公式の協力関係を締結し、栄
養科学領域における共同研究の推
進、教員・学生の交流、教育方法
の開発についての協力、研究情報
の交換などを両大学間で協議実施
する。また、必要に応じて合同の
研究会なども行うというものであ
り、この姉妹校関係の樹立によ
り、本学の国際的な活動の場が広
がり、また、国際的な立場での教
育の発展も大いに期待できるとこ
ろである。

本協定は、本学が海外の大学あ
るいは教育研究機関と締結した第
一号の協定であるが、本学の教育
研究の進展により、より広い国際
交流の場を広げ第二、第三の海外
姉妹校の締結も将来の課題となろ
う。国際的視野を広げるためにも
是非実現したいものである。

研究活動も海を越える

教員の研究活動も、海外へと広がっている。
七月以降の海外調査、研究発表の状況を紹介し
よう。（氏名・職名・専門分野①訪問国②目的
③期間）

久富さよ子助教（音楽）

韓国 音楽教育国際会議（I
S M E）研究発表および I S M
E 幼児音楽教育セミナー出席
7 / 20 ～ 8 / 2

高山守重教授（音楽）

韓国 音楽教育国際会議出席
7 / 26 ～ 8 / 2

権藤奥志夫教授（比較教育学）

シンガポール 「アジア・太
平洋地域人的資源の開発と経
営」国際シンポジウム参加と討
議 7 / 29 ～ 8 / 1

坂本喜久雄教授（社会学）

韓国 社会福祉事情視察およ
び調査打合せ 8 / 6 ～ 8 / 10

城田知子助教（栄養指導）

台湾 台湾における栄養調査
報告ならびに一部追加調査
8 / 20 ～ 8 / 27

伊藤和枝教授（臨床栄養学）

ネパール 第五次健康科学調
査 9 / 1 ～ 9 / 22

吉岡慶子助教（調理科学）

フランス 生物園連領域にお
ける高圧科学シンポジウム「高
圧と食品科学」日欧合同会議研
究発表 9 / 12 ～ 9 / 19

西岡弘晃教授（経済史）

オーストラリア 「Environ-
mental History of China and
Japan Project」の文献目録作
成と共同研究成果のとりまとめ
（オーストラリア国立大学）
9 / 18 ～ 9 / 27

中村量一副理事長

楠 喜久枝教授（調理学）

大村 浩久教授（食品加工学）

城田知子助教（栄養指導）

三成 由美講師（調理学）

中国 学術研究打合せ

9 / 7 ～ 9 / 14

海外派遣研究員

大関教授はニュージーランドへ

今年度の海外派遣研究員（短
期）に決定している一般教養科の
大関敏明教授（英語学）は、来年
二月出発予定。ニュージーランド
のワイカト大学言語学部にて約四十
日間滞在し、同学部の英語教授法
「Conversation Theory and Prac-
tice of Language Teaching」の
プログラムに参加。また、存在論
的言語論について研究を進める予
定になっている。

第一回 アジア栄養科学ワークショップ

一緒に考えてみませんか？ アジアの食と衛生

に対策を講じねばならない課題と
なっている。今回は、こうしたア
ジア諸国が抱える現状に迫りなが
ら、その改善に向けて、我が国が
どう協力していくべきか、また学
ぶべき問題点などについて考え、
参加費は無料、関心のある方は
ぜひご出席下さい。

日時 平成四年十一月十一日（木）

午後一時～五時

場所 音楽館二階多目的ホール

栄養科学研究所では、十一月十
一日に「第一回アジア栄養科学ワ
orkshop」を開催。「アジア
の食と衛生」をテーマに、群馬大
学医学部鈴木庄亮教授（公衆衛生
学）の「インドネシアジャワの農
村の食と衛生」など、六名の講師
の発表がある。
経済や教育と同じように、食と
衛生の問題は、急速な開発が進ん
でいるアジアの多くの国々が早急

講 師	所 属 ・ 職 名
竹本泰一郎	長崎大学医学部教授（公衆衛生学）
豊川 裕之	東邦大学医学部教授（公衆衛生学）
丸井 英二	東京大学医学部教授（留学生センター）
鈴木 庄亮	群馬大学医学部教授（公衆衛生学）
伊藤 和枝	中村学園大学家政学部教授（臨床栄養学）
城田 知子	中村学園大学家政学部助教授（栄養指導）



理事長に権藤奥志夫教授就任
各 地 の 新 聞 、
ア ジ ア
実 施 。
ア ジ ア
査 や 講 習 会 を
研 究 会 を 設 置
し て 、 現 地 調
査 や 講 習 会 を
各 地 の 新 聞 、

本年度は研究対象に韓国とタイ
を取り上げ、
研究会を設置
して、現地調
査や講習会を
実施。アジア
各地の新聞、

現在、九州教育学会会長、九州
シルクロード協会副会長、福岡マ
レーシア友好協会会長、北部九州
研究学園都市建設構想懇談会委
員、福岡県立学校教育振興計画審
議会副会長

子どもの心(10)

児童学科・幼児教育科

講師 中野 隆 二



子どもの描いた線は、いつ見て
も大変楽しいものです。例えば、
画用紙に大きな円形をかき、その
中に小さな丸を三つほどかき入れ
ます。これは顔で、その外円から
直接手足をかくのです。胴体がな
く「頭足人」と呼ばれ、3～4歳
頃の可愛い特徴です。それ以前で
は、赤や青色などのクレパスで、
ぐるぐるがきしたものに、名前を
つけたり、意味を言ったりします。
私達大人から見ると何をかいて

いるかさっぱり分かりませんが子
どもには分かるのでしょう。この
ぐるぐるがきにはバランスがあり、
かいているとき、とてもリズムカ
ルで楽しそうです。ある人はこの
行為を「自分自身への手紙を書い
ている」と言いました。5歳ぐら
いになると、大人から見てよく分
かる絵になりますが、平面的な表
し方で、基底線をかき、その上に
人や家・木が並んでいたり、箱を
開いたような感じであったり、透
視したかのようにかいたりもしま
す。また、一日のできごとを一瞬
時のように一枚の画用紙にかいた
りなどして、その表現方法は様々
です。この描かれた絵の中にはか
ならず自分自身が存在し、嬉しい
こと、悲しいことなど自分の思っ
ていることや感じだことなど何で
も絵の中にかき込んでいます。

このように、子どもの絵は大変
面白いものですが、子どもにとっ
て絵をかくことは「排泄浄化」と
言われ、心の中にあるものを絵と
いう表現排泄によって自分の心を
いつもフレッシュにしているとい
うことです。子どもの絵を見ると
きは上手（写実的？）にかいてい
ることよりも子どもが何を考えて
いるのかを読み取ってあげることが
大切であると感じます。

忙しい日々だったけれど時間には代えられないものを得た。

小児糖尿病サマーキャンプに参加して



食事はバイキング形式

キャンプとの出会いは軽い気持ちでした

稗田 昨年の四月頃、ちょうど二年生に進級したころですが、先輩から「説明会を開くから参加してみないか」と声をかけられたのがきっかけです。そのときは、将来の役にたつかも、と軽い気持ちでした。説明会に出席してみると女子ばかりだったので、男が一人参加していいのかな？という不安もありました。

宗 私はもともと病院栄養士になりたいと思ってこの大学に入りました。先輩の説明を聞いて、栄養士の仕事をかきま見れると思い、どうせ栄養士になるのなら、みんなより一歩も二歩も先を見ておいて就職を決めたいという気持ちがありました。

稗田 キャンプに参加するには試験があるんですよ。私たちの時は、ハンバーグの作り方とその付け合わせについて、それに参加し

たい動機と自己PRについてでした。それと面接です。

宗 食事スタッフの人数は原則として十六名ですが、今年は二十名参加しました。三年生が十二名に二年生が八名です。一年間やっただけでは、この仕事を自分のものにするには出来ないのです。どうしても二年間継続して参加することが必要です。二年生と三年生が一人ずつペアを組み、二年生は先輩のアドバイスを受けながら仕事を覚えていきます。二年生はまだ集団給食実習を経験していないので、やり方が分からないからです。

すべてを任せられるから目がまわるほど忙しい

稗田 私たちには糖尿病の子供達の食事、それに、スタッフの食事一切がまかされています。ですから、最初は「糖尿病」とはどんな病気なのかといった知識を頭に入れることから始めました。次に、どんな食事計画を立てたらよいかです。子供たちには毎日朝・昼・夜の食事の他に二回のおやつも準備します。エネルギーが含まないといけないし、どう展開していくか、最も神経を使いました。

宗 予定献立ができたならドクターや実践栄養の先生、ヘルパーさん

に実際に試食してもらいます。



スタッフ記念撮影

いがある人かいたら、ぜひ参加してみたいいかもしれませんが、ここで得るものの大きさがわかると思います。得るものが大きすぎるかもしれないけど……。

稗田 今は管理栄養士になりたいという強い気持ちがあるんですが、二年生になった時に退学届の用紙を取りに行ったことがあるんです。女の子は多いし、栄養士といった女性の仕事ではないかと、入学して一年間は、どうしても馴染めなかつたんです。でも、このキャンプに参加したことがきっかけとなって栄養士という仕事に対する考え方が変わりました。何よりも自分の学んでいることにに対して自覚と誇りが湧いてきました。他大学にいったらこんなことは絶対できないかっと思えますね。

病院の先生や栄養士さん、いろんな方と知り合いになれ、学外の勉強会や研修会にも参加させてもらっています。このサマーキャンプでやっていることは、うちの大学が誇りにできるものだと思います。

好きでやってただけなのに「福祉の町づくり」表彰にはにかむ

児童文化部

人形劇やぬいぐるみ劇などで子供たちに人気のある児童文化部が、平成四年度福岡市福祉のまちづくり推進大会で福岡市長表彰を受けた。児童文化部の部員は現在十九名（大学十二名、短大七名）。毎週一回木曜日の放課後、学友会館二階の部室で練習や人形の製作を行っている。みんな子供たちが大好き、練習の成果は幼稚園や公民館などに足を運んで子供たちに披露している。

今回表彰の対象になったのは、福岡市中央区警固にある中央児童会館で毎年七月に行ってきた七夕公演。人形劇や影絵、ぬいぐるみ劇で子供たちに楽しい夢を与え続けてきた活動に対して、同館の館長から市に推薦された。部長の有吉不二子さん（短大幼児教育科二年）は、「先輩たちが頑張ってくれたのが、形として認められたのがとっても嬉しいです。でも、私たちは好きでやってきたことだけなのに」とはにかんでいた。早良高校に入学した頃から、将来は保育になるのが夢と思っていた有吉さんは、「ぬいぐるみの中に入っていると、子供たちが抱きついてきたりして、すごく喜んでくれるんですよ。そうするとこっ



児童文化部の皆さん

ちまで嬉しくなります。先生や保母を目指している人には、勉強にもなります」と子供たちとの触れ合いの魅力を語った。ただ部員が少なく、一回の公演を行うには、現在の部員数ではギリギリというのが目下の悩み。子供が好きな人なら誰でも大歓迎。一緒に楽しくやっていきたいとのことだから、関心のある学生は、ぜひ学友会館の部室を訪れて欲しい。

24年ぶりに全種目参加

全国私立短大体育大会福岡で開催

九州では実に二十四年ぶりの開催となった全国私立短期大学体育大会（第二十七回）が、八月四日（七日の四日間、福岡市で開催された。バレーボール・バスケットボール・バドミントン・軟式庭球・卓球の五種目に、今回は全国から百六十五校、約三千九百名の選手・役員が参加。開会式は四日午後四時から福岡市民体育館で高円宮殿下、妃殿下と臨席のもと華やかに行われた。

開会式に続いて行われた公開演技には本学からさまざまな部と、ロ・ナ（ナカムラ・ダンシング・アソシエーション）が、日頃の練習の成果を披露。整然と緊迫感に満ちた演技を行ううなぎな部、軽快なリズムに乗ってフロアいっぱいには踊るZDAに宮様をはじめ観客席から大きな拍手が湧いた。



試合は翌日から三日間、福岡市民体育館をはじめ、市内の公立体育館や大学・短期大学等の体育施設を使用して熱戦が展開された。

本学からも二十四年ぶりに全種目参加したが、前期試験が終了した直後で練習不足のせいもあってか、力を出し切れなかったようだ。全国大会ともなるとさすがにレベルの高いチームも多く、練習量の違いが際だった大会であった。本学各サークルの今後の健闘を期待したい。

気になる数字 33%

また今年もサークル加入者が減った。9年前、昭和58年の加入率70%をピークに、年々減少傾向にあるサークル加入者が、今年はとうとう33%（大学・短大合計）となった。臨時定員増で在学生数は増えているものの、人数も969名と初めて1,000名を割った。

この減少傾向は全国的なものはあるが、この先どうなるのか気になる数字である。

サークル活動でひとつのことに打ち込むよりも、アルバイトで優雅な学生生活をエンジョイする。それも時代の風潮といえはかないが、気の毒なのは、サークル活動を一生懸命したいという学生がいるにもかかわらず、人数不足から満足な練習や活動ができないというサークルである。



稗田くん（左）、宗さん（右）

生、今井先生といった学内の先生のほか福岡日赤病院小児科の仲村先生それにヘルパーさん、子供達……たくさんの人と関わりを持てたことが本当に良かったと思います。まだ、自分の行き先（進路）に迷

味・材料・調味に偏りはないか。すべてチェックして献立は完成です。

ここまでにするだけでも大変なのですが、この他に食材の仕入れ、食器の手配などもあり、もう、目が回るほどの忙しさで、前期試験はぶっつけ本番で頑張りました。夏休みに入っても最初の二、三日と出発の前日は準備にかかりつきりて学校に来ていました。

稗田 私達に全て任されているわけですから、何かあったら怖いなあという思いが、いつも頭にありました。ですから、役割分担も細かく分けて、それぞれがチェックリストを作り責任をもってあたることになりました。

宗 食事は朝八時・正午・午後六時、それにおやつが昼三時、夜九時ときちゃんと決められています。朝は五時半に厨房に入り食事の準備にかかります。夜は翌日のためのミーティングや準備などで、

人との出会いが退学したいと思っていた気持ちを変えた

宗 キャンプと関わりを持って二年間、本当に忙しい日々でした。毎日がキャンプのためにあったといっているくらいです。直接指導をしていただいた伊藤先生や林先

教育改善委員会で審議進む

学 長 山 元 寅 男



平成三年七月、文部省

は、大学審議会の答申を受けて、大学及び短期大学の設置基準の一部改正（一部といっても大幅改正となった）を行い公布した。これに伴い、本学においても新設置基準に対応できる教育の改革を行うべく、学内に教育改善委員会を発足させ、改革のための検討に入ることになった。

委員会は、研究科長、各学科長、科長、図書館長、学生部長、事務局長をはじめ各科、部からの代表者を加え、総員十八名で出発することになり、昨年七月に委員会での審議を始めた。以来、今日まで約三十回を数えるに至っている。我が国の高等教育は、第二次世界大戦の終わった後に、大改革が行われ、それに基づいて、教育システムに関わるカリキュラムが細かく規定されてきた。戦後の高等教育は、学術文化の向上はもちろのこと、今日の豊かな活力ある社会の形成に大きく貢献してきた。しかし、今日見る著しい学術の進展、技術革新、国際化・情報化の

進展、産業構造の変化、国民の意識や生活の多様化等に伴い、これらに対応できる高等教育を行うためには、従来の設置基準では十分とはいえなくなった。したがって、このような高等教育を取りまく社会環境に適切に対応するために大学・短期大学の設置基準が改正されたのである。

その主要点は、（一）大学・短期大学の設置基準の大綱化であり、（二）大学・短期大学の自己点検・自己評価を行うことなどである。その他、若干の改正も含まれるが、本委員会の検討事項はこの二点を主とすることにした。

設置基準の大綱化により、従来細かく枠がはめられていたカリキュラムの編成に、大学自身が求める個性化、弾力化が可能となったが、同時に絶えず自己点検・自己評価することにより、大学の質的向上をはかる必要がある。

本委員会では、まずはじめに、大学審議会が、大学設置基準の改正に至るまでの、各答申を学習検討し、改正の背景について十分な時間をかけて論議した。次いで、改正点の個々の条項の正確な理解を得るための研究を行ってきた。

以上の基本的事項の検討と十分な認識の上で、次のような、本学が取り組むべき具体的事項の検討審議に入って今日に至っている。

まずはじめに、本学の建学の精神と教育目的（理念）と各学科または科の教育目標の明確化を行うことである。

周知のとおり、本学には建学の精神と教育目的が明記され、それに基づいて大学には家政学部が設置され、さらに、この中に食物栄養学科と児童学科が分けられている。一方、短期大学には、食物栄養科・幼児教育科ならびに家政科が設置されている。本学では前記のような総合的な教育目的は明示されているが、各学科・各科の教育目標、換言すれば、それぞれがどのような教育により、どのような人材を育成しようとするのかが従来明確ではなかった。この点を審議し、一応のまとめができた。

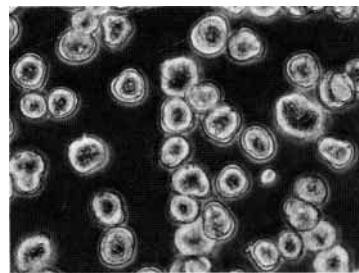
次に、これらの教育目標を達成するための教科目と教育課程のシステム化を明確にするために現在審議中であり、今後の成果を得つつある。これが完結すれば、次は、各教科目毎の教育内容（シラバス）を作成し、それぞれの教育到達目標を設定し、実りある教育を実施することになる。本学の学生が授業と自発的学習をうまく調和させ、教育目標の達成のための工夫を考えなければならぬ。その次に、自己点検・自己評価の検討に入ることにしている。

大学院紹介

(4) 栄養生化学部門

分子生物学から、健全な人体の代謝調節の理解を目指して

生命現象の維持のため、わたし達は毎日食事をし、その食品栄養素を代謝利用して生きている。人体はおよそ六十兆の細胞からなりたっているが、細胞はバラバラに代謝反応をしているのではない。細胞内、間で調節され、体全体としてヒトとしての健康な生活が営まれている。生化学研究の大筋の流れは、細胞を構成している分子の解析、細胞内反応、およびその調節に大きく分けられる。栄養学では生化学の細胞レベルの研究を体全体としてみる必要がある。成長、健康、疾病における体の営みを理解し、それに対応して、どのような食べ物（栄養素）を、どれだけ（必要 所用量）、どのように摂るかを決めることになる。栄養生化学部門では、体の営みの基本現象をモデル キュラーバイオロジーの視点で



A : 細胞分離直後 (x100)

を、どれだけ（必要 所用量）、どのように摂るかを決めることになる。栄養生化学部門では、体の営みの基本現象をモデル キュラーバイオロジーの視点で

解析し、新しいバイオテクニクを駆使し、栄養の立場で研究している。将来、栄養士として、また栄養に関する専門的な研究を目指す人たちが、新しい知識を身につけ、活躍できるように研究態度、方法の基本的指導を行っている。

山藤圭子教授は降圧活性ペプチドを生成する細胞内酵素について、生成ペプチドの生理機能（栄養素の腸管吸収への影響など）と、この酵素の骨粗鬆症との関わりについての研究で成果をあげている。原孝之助教授はステロイド合成に関与するP450 酵素系の構造機能相関や、高密度リポタンパク質の機能評価を鋭意研究している。筆者は栄養によるホルモンの酵素誘導の変化、大豆タンパクのメチオニン利用率、ならびに低アレルギー食品の開発

教授 中村 元臣

（研究テーマ）

急性心筋梗塞の発症機序に内在する実験的研究 局所要因と神経体液性要因の役割

（区分・補助金交付額）

一般研究B・三百六十万円

教授 山元 寅男（代表）

助手 水谷 明子（分担）

（研究テーマ）

血中カイロミクロンの消化消失はどこでどのように行われるか

（区分・補助金交付額）

一般研究C・百万円

講師 今井 克己

（研究テーマ）

基礎代謝量に対する活性組織量の影響について

（区分・補助金交付額）

奨励研究A・九十万円

助手 竹嶋 美夏子

（研究テーマ）

高密度リポタンパク質の機能を高進する食事因子の解明

（区分・補助金交付額）

奨励研究A・九十万円

このほか左記八名の教員に対して九つの民間企業や研究助成財団から研究助成金・委託研究費が支給されている。

青峰 正格教授・石西 伸教授

伊藤 和枝教授・楠 喜久枝教授

谷口巳佐子教授・中村 元臣教授

原 孝之助教授・三成 由美講師

学び心で人生豊かに

公開講座は生涯教育の入口

78歳を最高に60歳以上も13名受講



月／日	講義題目	講師
9／12(土)	開講式 挨拶 オリエンテーション	学長 山元 寅男
	現代生活と健康	教授 松本 壽吉
9／19(土)	食物とトキシコロジー	教授 吉村 英敏
9／26(土)	日本的女性の発見	教授 載 敏也
10／3(土)	ネパールの食生活から学ぶ	教授 伊藤 和枝
10／17(土)	夫婦の権利と義務	教授 井上 馨
10／24(土)	家庭と家庭教育—国際比較	教授 権藤典志夫
	閉講式 修了証書授与 挨拶	学長 山元 寅男

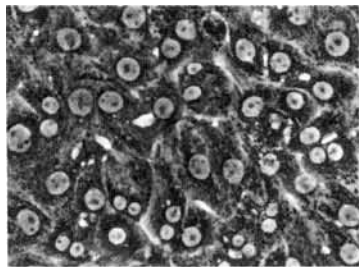
科学研究費 決まる

平成四年度文部省科学研究費補助金の交付が、次のとおり決定した。

について研究している。

大学院修士課程が設置され、より高度な研究の推進のために、栄養生化学部門には、細胞培養実験室、遺伝子操作実験室が整備され、遺伝子・細胞レベルでの研究が行えるようになった。現在、細胞培養実験室では木下助手、卒論生（庄司さん、房野さんの二人とも平成五年度修士課程へ進学予定）は初代培養肝細胞を用いた実験をしている。

二人の声、自分達の調製した肝細胞で良い実験結果が得られた時の喜びは大きく、何より充実感がある。実験の好きな学生は是非、見学に来られて下さい」を紹介しておく。



B : 24時間後 (x100)

写真(A)はラット肝細胞の

の指標となるIgMの定量は、

分離直後、(B)は二十四時間後のものである。ラットの肝臓をコーケナーゼ処理し、一度バラバラとし、適当な培養液で培養すると二十四時間後には集まった状態になっているのが分かる。このような良好な状態の細胞を用いてグルココルチコイド応答や、インスリンによる脂肪合成系の酵素誘導など、栄養条件によるホルモンの酵素誘導

高度な技術があるので、矢野さんは、まず基礎実験として大豆タンパクから、血球凝集タンパク（レクチン）の精製に挑戦している。四月から実験を始め、現在、ほとんど単一タンパク質にまで精製に成功し、今後の成果が期待されている。

（教授 谷口巳佐子）

研究室から

家政科 森戸政信ゼミ
助教



私達のゼミは25名で構成されています。今年のゼミのテーマは経済思想研究となっています。当面の目標は古典派経済学害アダム・スミス研究であり、スミスの『国富論』を中心に勉強しています。スミスの『国富論』は刊行後すでに200年を経過していますが、依然としてそれは近代経済学の源流であり、経済学の最大の古典とも言われています。

私達は今まで『国富論』とかアダム・スミスとか聞くと、それは歴史上の人物であり思想である、という意識が強かったのですが、『国富論』やスミスについて学んでいくうちに、スミスの思想は現代の私達の生活の在り方にまで影響しており、経済というものが身近に感じられるようになりました。日本経済は21世紀へ向けて経済第一主義から生活重視へと構造的転換を要請されており、コメ問題をはじめ内外に課題が山積しています。今日、正義論を根底にした自由主義的改革読者たるアダム・スミスを学ぶ現代的意義はますます大きくなっています。

私達のゼミでは毎週2人1組で自分たちが懸命に研究した成果を発表し、それについて質疑応答しながら学習を進めています。

このゼミでは研究と同時に、あくまでも仲良く、明るく、楽しくという事を隠れた信念として大事にしています。ゼミの研修旅行では、熊本・大分方面に出かけ、山里の温泉に浸りながら楽しく友情と親睦を深めました。ゼミ主任の先生も明るくユーモアがあり、学生も皆いい仲間ばかりで、和気あいあいと楽しく学んでいます。

景気の後退

求人にも反映

学生課長 久保田 義昭

事務系

「一般事務系」

今年の就職戦線は、バブルの崩壊とともに景気が後退し、従来の「売り手市場」から「買い手市場」へと様変わりしました。このため、特に女子学生にとっては一段と状況は厳しくなつたようです。

しかも、採用選考開始が、八月一日前後を目標として企業の自主的決定に任されるという不透明となり、混乱に拍車がかかりました。量より質を求めたため、求人の方法を学校推薦から自由応募に切り換えた企業も多く、そのため、学生はただ大学に寄せられる求人情報をあてにするだけの活動では効果が無く、積極的に企業訪問やセミナーに参加した学生だけが、何とか面接や試験を受けるチャンスを与えられたようです。しか

も、採用する企業は、何回も何回も面接や試験を行い、絞り込んだため、学生に対する拘束期間は例年より長くなりました。このように今年の就職戦線は、積極的に活動した学生はそれなりに、複数の企業から内定や内々定を買いましたが、ただ漠然と大学に来た求人票のみを頼りにした学生は、受験の機会が少なかったようです。

また不景気のときの就職活動では、先輩取材の仕方、より積極的に、しかも、より深く会社内容等を研究しておく必要があったようです。学生は、好景気の時は、自分本位で会社を選ぶことができたわけですが、不景気になると企業も慎重になります。本学における事務系の求人状況を見てみると、九月三十日現在で、大学は昨年比二三%減の二五九件、短期大学も同じく一九%減の四七三件で、共に全国平均並の減少となっています。十月一日から採用内定開始となりましたが、

今年も全員合格

管理栄養士国家試験

五月十七日に札幌市、東京都、名古屋、大阪市、岡山市、熊本市及び那覇市の一部六市で実施された第六回管理栄養士国家試験の合格者が六月十二日付で厚生省から発表された。

本学関係では大学食物栄養学科管理栄養士専攻卒業生が四十九名（うち平成四年三月卒業四十八名）、同食物栄養専攻卒業生二十三名（うち平成四年三月卒業六名）、短大食物栄養科卒業生四十名計百

十二名が合格した。管理栄養士専攻今年度卒業生の受験者は、昨年度に続き全員合格となった。なお、今回の国家試験を全国で七千五百八十三名が受験、合格者は三千七百八十六名だった。（合格率四九・九%）。管理栄養士専攻・食物栄養専攻からの合格者は次のとおり。

（管理栄養士専攻）
北崎由美、山脇由子、北村いづみ、井上真理子、堀内豊子、矢野

「専門職」
専門職の栄養士・幼稚園教諭・保育などの求人はこれからビクになります。こうした専門職は一般企業ほど景気の動向に左右されることはありませんが、各自がしっかりとした目標を定めて、積

極的に活動していくことが内定につながります。最後に、学生課としては未決定者に対する就職指導を今後とも、より細かく行っていく所存です。で、学生の皆さんは、今にも増して就職資料室を大いに活用し、また担当者との相談を密にして下さい。

千奈美、久保山律子、梅田元子、原綾、矢ヶ部志麻、尾形肇子、梶島美弥子、石松房子、鬼木光子、森保奈穂子、永田亮子、荒川優子、倉八千鶴子、古賀友恵、新納由紀子、上野真貴子、日下部香、三浦香織、河相尚子、山口淳子、大崎智子、児玉洋子、緒方麻紀子、手嶋眞理子、和多民子、宮本紀子、永田智子、阿式直美、柴田美里、舟津みゆき、西村栄恵、恒吉礼、出水順子、上野砂織、白木原智美、梅田恵美、稲葉恵里子、三浦和美、富永松乃、山根早紀子、川原千津子、田上幸代、畑田美奈子、紫村ゆう子

（食物栄養専攻）
久保康代、吉村華子、堀田貴子、小森祐子、後藤直美、浅倉浩子、手嶋朝子、柏原直子、小役丸照代、有川貴子、河内美奈子、林田知子、加峰眞弓、戸田亜紀子、内田佳代子、吉田美佐、犬飼妙、寺尾正子、山本恭子、佐藤満子、諫武加代子、角理恵子、瀧上由美

（社団法人全国栄養士養成施設協会確認）

私の就職活動レポート

何をしたいのか

自分の考えをはっきり伝えること

—ダブルスクールも役に立った—

食物栄養学科・食物栄養学専攻4年 竹内 加寿子さん（JTB 内定）

情報を求めて他大学にも足を運ぶ

私が自分の就職に関して意識し始めたのは大学三年の春でした。スチューデントに合格された方のお話を聞いたのがきっかけで、スチューデントになりたいと思い始め、三年の九月下旬から、福岡スチューデント学院の夜間部に通い始めました。今考えると私の就職活動の準備はこの時から始まっていたとはっきり言えます。学院では約十カ月間、立居振舞、面接実技、英語、一般教養などの指導を受けましたが、すべてにおいて私の就職活動に役立ったと思います。具体的な就職活動に入ったのは二月下旬からでした。次々と送られてくるリクルート用のハガキを活用し、約五十社に資料を請求し、そのうち約半数の企業から資料を受け取りました。あくまでも私の第一希望は日本航空のスチューデントでしたが、その試験のみに賭ける自信はなかったため、できるだけ多くの会社を訪問するつもりでした。



▲リクルート姿の竹内さん

人事担当者はコネよりハートをみている

五月中旬から、各会社の試験が始まりました。受けた企業は、カルビー、岩田屋、JTB、日本航空、全日空など六社です。カルビ

同級生には専門職をねらう人も多いので、友人からの情報がほとんど期待できず、実際あせりまして、苦勞もしましたが、他大学での就職説明会に参加したり、西南大や福大の友人から情報を入れてもらったりしたのが役に立ったと思います。私が航空会社以外の会社を四社しか受けることが出来なかったのも情報の少なさと、私がねらう企業にOGがおらず、会社訪問をどのようにしてよいかわからなかったのが原因だと思えますが、もっと積極的に活動すればよかったと少し後悔しています。

私は三次の筆記で失敗し、岩田屋は最終面接がJTBの三次と日程が重なり断念。JTBともう一社は内々定をいただき、日本航空は二次、全日空は一次で落ちてしまいました。それぞれの会社の感想ですが、カルビーは人事の方の感じが大変良く、働いてみたいと思えた会社でした。岩田屋に関してはうわさで「コネのある人しか採用しない」と聞いていたのですが、私でも約三十倍の倍率の最終試験に残ったので、コネよりハートを大切にしてくれる会社だと思います。JTBは今年の人気ランキング一位というところで受験者も多く、一次、二次試験までは第一印象が決め手だったのではないかと思います。面接はかなり突っこまれるので、自分がこの会社で何がしたいのかという意見をしっかりと持つことが大切だと思いました。内々定を辞

退した企業の方には電話で三十分以上怒られ、大変つらかったです。日本航空は全日空に落ちた次の日が一次の試験で、なかばひらきなおって一次を受けたのが合格につながったと思います。二次はあまりの緊張で前夜一睡も出来ず、御飯も喉を通りませんでした。結果も見事にダメでしたが、日本航空に落ちたのは納得できたので後悔はしていません。その逆で全日空の一次は自分で「絶対受かる」と思える程面接はうまくいったのに落ちてしまい、今でも尾をひいています。

こうして終わった私の就職活動ですが、一番大切な事は自分自身をよく見つめ直す事だと思っています。今まで何をしてきて、どんな考えを持っていたのか、という事をあらためてじっくりと考える事の出来た、貴重な体験でした。

就職指導担当のコメント

今年の就職戦線は、女子にとって特に厳しい状況にあり、指導は個人面談を中心に実践的なアドバイスを行いました。が、竹内さんは私たちの指導を真摯に受けとめてくれました。活動は積極的で、いい意味で開き直ったことが効を奏した様です。今年は特に、活動を早期（四月）にできたかどうかのポイントになっていました。（学生課 甲斐幸一）

ゴールを目指して真剣な受験生 キャンパス公開に700名参加

「見て・聞いて・確めて」 パ
ンフレットではわからない中村学
園でのキャンパスライフを体験的
に理解してもらいたいと、受験生
を対象にしたキャンパス公開が、
今年も暑さ真つ盛りの七月三十
一日に開催された。

この日来校した受験生はアンケ
ート回答者だけで四百八十名。付
き添いの父母等を含めると約七百
名の参加者があったと思われる。
午後一時、オープニングは西一
号館十階大講義室でのビデオ放
映。三百名収容の講義室は立見者
も出て、熱気にあふれていた。こ
の後、来校者は学科ごとの進学相
談コーナーや就職相談コーナーあ

るいは施設見学と、自由に学内を
見学した。中でも人気があったの
は在学生との面談コーナー。寮生
活やサークル活動など、具体的
なキャンパスライフを知りたいと熱
心に話を聞いていた。

アンケートの回答をみると、大
半の受験生が満足してくれていた
ようであるが、「校舎案内がわか
りにくかった」、「模擬講義をし
てほしい」といった要望もあり、来
年度実施する際の課題も提起され
ていた。

福岡県内はもとより、宮崎・鹿
児島・沖縄・東京といった遠方か
らわざわざ来てくれた受験生の
皆さんにとって、このキャンパス

公開が、少しでも本学理解に役立
ったことをうれしく思っている。
真剣な目につかれた
合同進学説明会

六月九日から十月六日まで九州
各県および山口・広島両県の延べ
三十五会場で開催された私立大学
合同進学説明会の本学相談コーナ
ーには、約六百名の受験生が訪れ
た。六月、七月の説明会ではまだ
漠然とした質問も多かったが、九
月以降になるとさすがに出題傾向
など具体的なものが多くなり、受
験を間近に控えて、真剣さが増し
てきた様子だった。

これから、いよいよ厳しい試験
に挑むわけであるが、面談してき
た一人一人の合格を願わずにはい
られない。

平成5年度 大学院・大学・短期大学入試要項					
	大 学 院	推薦入学		一般入学	
		大 学	短期大学	大 学	短期大学
出願期間	平成5年 2月15日(日) 平成5年 2月26日(金)	平成4年 10月9日(金) 平成4年 10月24日(日)	平成4年 10月26日(日) 平成4年 11月10日(金)	平成5年1月6日(日) ～平成5年1月23日(出)	
試験日	平成5年 3月3日(日)	平成4年 11月1日(日)	平成4年 11月14日(出)	平成5年 2月1日(日)	食物栄養科/平成5年2月2日(日) 幼児教育科/平成5年2月3日(日)
場 所	本 学	本 学	本 学	本学・広島・宮崎 ^{※1}	本 学
試験科目	1. 外国語(英語) 2. 栄養学 3. 選択科目 ^{※2} 4. 面接	1. 基礎的学力を判定する テスト(国語) 2. 基礎的学力を判定する テスト(英語) 3. 面接		1. 国語(国語I・II併し古文、漢文) (を除く) 2. 英語(英語I・II) 3. 選択科目 ^{※2}	
合格発表	平成5年 3月9日(日)	平成4年11月 7日(出)までに行 う	平成4年11月 21日(出)までに行 う	平成5年2月12日(金)	
入学手続 の切 日	平成5年 3月16日(日)	平成4年 11月18日(金)	平成4年 12月3日(日)	一括手続: 平成5年2月24日(日) 分納一次手続: 平成5年2月24日(日) 分納二次手続: 平成5年3月24日(日)	



- ※1. 地方試験場
- | | | |
|-----|------------|----------------|
| 広 島 | 河 合 塾 広島 校 | 広島市南区大須賀町14-20 |
| 宮 崎 | ホテル プラザ宮崎 | 宮崎市川原町1-1 |
- ※2. 選択科目は「数学I・II(但し、電子計算機と流れ図を除く)」「化学(理科Iの化学分野を含む)」「生物(理科Iの生物分野を含む)」「日本史」「世界史」から1科目選択。
但し、大学食物栄養学科および短大食物栄養科は「日本史」「世界史」を除く。
※3. 選択科目は生化学、解剖生理学、食品学、運動生理学、臨床栄養学、公衆衛生学(食品衛生学を含む)から1科目選択。

中村ハル育英奨学生決定

平成四年度中村ハル育英奨学生
が決定。十月二十七日、中央本館
大会議室にて、中村久雄理事長か
ら表彰状と奨学金が手渡される。
奨学生は次のとおり。

食物栄養学専攻四年	藤巻あかね
管理栄養士専攻四年	庄司 陽子
児童学専攻四年	榎本菜々子
児童教育学専攻四年	石井 純子
〔短期大学〕	
食物栄養科二年	小野亜希子
	純田 裕子
家 政 科二年	城戸 妙子
	井釜 清子
幼児教育科二年	野口 恵子
	藤原 香織

図書館利用状況

図書館では、学生を対象に五
月、六月、七月の三カ月間(各月
十五日間)入館者数の調査を実施
した。それによると、在籍数は大
学生が短大生より少ないにも関わ
らず、五・六月は大学生の入館者
数が多く、その割合はほぼ六対四
となっているが、七月の前期試験
期には、その割合が逆転していた。
また学生一人当たりの入館回数
(大学生+短大生)は五月一・九
回、六月二・二回、七月六・一回
で五月、六月は大学・短大とも高
学年の利用が多かったが、七月に
は低学年の利用が多くなっていた。

人間が健康と幸福を切望する
のは当然であろう。しかし、人
間が病むことを知らない時代は
ない。本書は、人類が病氣と闘
ってきた歴史を多角的に顧みる。
世界的な微生物学者のエッセイ
で読みやすい。もちろん、むず
かしくもある。だが、著者の英
知と博學に触れるだけでも価値
はある。その領域は、学問体系か
ら数えると計りしれない。
直接的・間接的な差はあるが、
いかなる学問も人間の
健康と幸福に結びつ
ていることをあらため
て知らされる。

著者は後に「人間と
適応」を著すが、本
書における人間や動物
の環境への生物学的適応の話も
おもしろくて分かりやすい。
「ずんぐりと背の低い、脂肪に
被われたからだのつくりは、北
極の気候でエスキモーが、体温
を調節するのに役立つ。反対に、
背のひよる長いほっそりした赤
道アフリカのある部族のからだ
は、体温を追いつくのに役立つ。
さらに乾燥地の気温は、地上か
ら数フィート高まるにつつと低
くなるから砂漠では背が高い方
が得である。オーストラリアの

一冊の本
ルネ・デュボス 著
健康という幻想
「医学の生物学的変化」
田多井 吉之介 訳
一般教養科
助教授 古賀 範 雄

中部に住む原住民の胃は、大量
の水を貯える水筒の役をつとめ
ている。アンデス山系のチチカ
カ湖のほとりに住むアマラと呼
ばれるインディアンは、胸が大
きく、呼吸は深く、血液の中のヘ
モグロビンが多い」等が詳細な
説明で登場している。

健康をタイトルにした本であ
りながら、健康とは何かを教え
てくれるよりもむしろ
本当の健康とは何かを
問いかける。そして、
究極には人間の「本性」
に迫る。「心配のない
世界でストレスもひず
みもない生活を想像す
るのは心楽しいことか
もしれないが、これは
怠けものの夢にすぎな
い。人間生活は動的プ
ロセスなのに、楽園は静的概念
だから、地球上に別の楽園を見
いだそうとしても、むだである。
人間は、必ずしも自分のため
ではなく、永遠に進んでいく情緒
的、知能的、倫理的発展のため
に、戦うように選ばれているの
だ。危険のまったなかで伸び
ていくことこそ、魂の法則であ
るから、それが人類の宿命なの
である。」と著者はむすぶ。
自然環境、国際化の問題を含
めて、健康論にとどまらず、人
生を考えさせる一冊である。

中村の味は 寄鍋風味? 今年の学園祭 これで決まり

児童学専攻2年
学園祭実行委員長 元屋 佳之

今年も学園祭の季節になりました。
あちこちの大学ですで行わ
れています。本学の霜月祭も十
一月六日・八日の三日間の予定で
開催いたします。準備もいよいよ
最終段階に入り、百八十名のスタ
ッフも活動に熱が入ってきました。
た。

学生にとって年間で最も大きな
イベントである学園祭は、本学が
一つにまとまる絶好のチャンスで
す。今年のテーマは「Y O S E N
A B E」うまさはみんなの持ち味
たい」に決定いたしました。こ
のテーマには、学生一人一人の個
性(持ち味)を生かして、学園祭
という大きな鍋で中村風の味を醸
しだしたいという思いを込めてい
ます。

どうしたら中村学園の特色を出
せるか、色々考えてみました。毎
年恒例の食物系のクラスによる食
品バザーは、すでに定評を得てい
るところですので、今年は新たに
教育系のクラスに呼びかけ、教育
実習のレポートを展示したり、実
習中の様子を体感して貰えるよう



私達実行委員が一年間かけて準
備してきた学園祭を、多くの方に
楽しんで頂きたいと、天神の新天
町アーケード街でパフォーマンス
に富んだPR活動なども行ってい
ます。

すてきな思い出となる学園祭に
皆さんもぜひ参加してください。

ゼミ生手づくりの ウェディング・ドレス発表



家政科の石橋葉子教授(被服
学)のゼミ生九名が、約一カ月か
けて作ったウェディング・ドレス
九点が九月二十一日から二十五日
まで西一号館二〇一教室で展示さ
れ、訪れた学生、教職員をうっと
りさせた。
「私にこんな素敵なドレスが作れ
るなんて夢みたい」と語るゼミ
生。自分で作ったドレスを着て記
念写真におさまっている姿に喜び
と恥じらいが感じられた。ちなみ
に製作費は一着二万円・四万円と
のこと。

マンドリン・筆曲・クリスタル ハーモニも定期演奏会

日本ホルン協会会員で本学児童
学科・幼児教育科長の三好隆三教
授が二年ぶりに第十回ホルンサ
イタルを開催する。
日時・十一月二十六日(木)
午後六時四十五分開場
場所・福岡銀行本店大ホール
演奏曲目・G・F・ヘンデル/
ソナタ ハ長調、
F・ストラウス/
協奏曲 op.8. 他
B・アニシモフ/
ホルンとピアノの
ための詩曲 他
入場料・2000円(全席自由)
開演 18:30(500円)
早良市民センター
開演 18:30(500円)

創設の経緯
 今和園園長
 中村学園
 中村学園

=キャンパス周辺= MAP



表紙写真 付属幼稚園での教育実習風景（児童学科・児童教育学専攻4年）